

中部電力株式会社及び株式会社OSCF「(仮称) 鉢伏山風力発電事業 環境影響評価方法書」に対する勧告内容

環境影響評価の項目並びに調査、予測及び評価の手法について

1. 本事業計画では、風力発電備及び附帯設備の構造・配置又は位置・規模に係る具体的な事業計画が明らかになっていないことから、これらを明確にした上で、適切に調査、予測及び評価を行うこと。
2. 近年の局所集中的な降雨の傾向と土捨て場や道路工事に係る雨水排水対策を踏まえ、濁水の影響について適切に調査、予測及び評価を行うこと。  
また、周辺は有数の豪雪地帯であるため、必要に応じて、融雪期の降雨時調査も検討すること。
3. 対象事業実施区域及びその周辺で鳥類調査を実施する際には、専門家等からの助言を踏まえ、定量性が確保されるように調査、予測及び評価を行うこと。  
また、対象事業実施区域の周辺には、イヌワシの行動圏が確認されているため、イヌワシを調査、予測および評価の対象に追加すること。
4. ニホンヤマネ及びニホンモモンガについては、巣箱調査などの適切な方法を選定して、生息状況調査の実施を検討すること。
5. 植物の調査については、尾根以外の斜面にも調査地点を配置するとともに、早春に開花する種に配慮し、調査の時期を設定すること。
6. 景観に係る眺望点として、若狭湾国定公園の公園計画に位置付けられた猪ヶ池園地を追加すること。

(福井県知事及び滋賀県知事からの意見書の写しを添付)